学校番号	３０１３

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各時代の古筆に関連した書論をてがかりに、伝統文化としての書に対する理解を深めます。
・現代社会における書の意義を実感することで、書が今後どのように文化の発展に寄与していけるかを考え、創造的かつ個性豊かな創作を探究しましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4・5	簡牘の世界に学ぶ	・漢代木簡の鑑賞と臨書 ・居延漢簡・敦煌漢簡を生かし半切に倣書	○	○		○	a:戦国・秦・漢時代における日常の書写体を明らかにすることで、書の伝統と文化に関心をもって取り組もうとしている。 b:隷書の波磔の美しさを感じ取り、表現を工夫している。 C:リズム感・躍動感を大切に、彫り込むように表現している。 d:肉筆の書、木簡にふれ、先人たちの息づかいや思いを読み取り、新しい発見と感動を得ている。	観察(a,d) 提出作品 (b,c)
6・7・8	漢文の書	「礼器碑」(後漢) 「喪乱帖」(東晋) 「薦季直表」(魏) 「魏霊蔵造像記」(北魏) 「枯樹賦」(唐) 「祭姪文稿」(唐)	○	○		○	a:古筆の多彩な表現に関心を持って、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:古筆の美しさを感じ取り、表現を工夫している。 c:書の伝統を踏まえ、書体の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付け表している。 d:書の伝統と文化を理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a,d) 提出作品 (b,c)
9・10	漢字仮名交じりの書 裏打ち作業	・語句の選定、用具 ・用材の選択、用紙の大きさの選定 ・草稿制作、清書、押印 ・作品を裏打ちしパネルに貼って完成させる。 ・相互批評会	○	○		○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、創意工夫し、意欲的に取り組もうとしている。 b: 自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c: 創造的な書表現にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、芸術としての書を味わっている。	観察(a,d) 提出作品 (b,c)
11・12	仮名の書	「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」 短冊に仕上げる	○	○	○	○	a: 古筆の美にふれ、日本人の美意識を理解し、自己の表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b: 古筆の美しさを感じ取り、表現を工夫している。 c: 創造的な書表現にするための表現の技能を身につけ表している。 d: 受けつがれてきた日本人の美意識を理解し、その価値を考え、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a,d) 提出作品 (b,c)

月	題材名	学習内容･活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1・2・3	生活の中の書	葉書を墨流しで染め、仮名の書の作品制作	○	○	○	○	a: 書の伝統と文化に関心をもって、創造的活動に取り組もうとしている。 b: 古筆の構成の美しさも感じ取り、表現を工夫している。 c: 紙面構成の美を身につけ表している。 d: 暮らしの中に書を生かす伝統と文化を理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a) レポート(d) 提出作品(b,c)

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。